



## 認められる喜びと自信

園長 原田 幸子

早いもので、今年も残すところ1か月となりました。子どもたちは散歩や遠足に出掛け、秋の自然の中で、落ち葉や木の実、虫などに興味をもって関わったり、遊びに取り入れたりして楽しんでいます。

2学期は、運動会やこどもの森コンサート、こども劇場、保育参観など、保護者の方に園生活の様子をご覧いただく機会が多い学期です。10月の運動会では、体を動かす活動を通して、子どもたちの成長を実感していただくことができました。(ひよこ組の方は、来年をお楽しみに) 11月のこどもの森コンサートでは、5歳児クラスの保護者の方に、歌や合奏を通して、友達と心を一つにして表現する姿をご覧いただくことができました。

行事後に保護者の皆様からいただくご感想は、「コロナ禍でも工夫して開催してくださり、ありがとうございました」「成長した姿が見られてうれしい日となりました」など、温かいお言葉が多く、私たち職員の励みになっています。

また、行事に向けてのご家庭の様子について「運動会までは、毎日運動会の話でもちきりでした」「家族中が覚えてしまうほど何回も音楽をかけて、練習していました」「楽器決めの時には、やりたかったものは人数が多く、お友達に譲った話をしていて、心の成長を感じました」など、すてきなエピソードがたくさん書かれていました。保護者の方が、お子さんの気持ちに共感したり、自信をもつことができるようにほめてくださったりしていることが分かり、「家庭と園の生活はつながっている」ことを改めて感じました。温かい環境ですくすくと育っている本園の子どもたちは、本当に幸せです。

12月のこども劇場では、3歳児、4歳児、5歳児クラスが、劇遊びをご覧いただく予定です。役になりきって動いたり、話したりすることは、表現力を育みます。これまでと同じように、子どもたち一人一人の思いに寄り添いながら、がんばる気持ちや自信をもって取り組めるように、ご家庭と一緒にお子さんを支えていきたいと思えます。1年の締めくくりの12月が楽しく過ごせるよう、どうぞよろしくお願いいたします。

